指定管理者自己評価シート

Ⅰ　基本事項

評価対象業務	大船渡市立図書館管理運営業務
指定管理者	株式会社図書館流通センター
指定管理期間	令和７年４月１日～令和12年３月31日
評価年度	令和７年度
人員体制	総括責任者１名 業務責任者１名 副業務責任者１名 職員６名 移動図書館車運転手１名
勤務状況	・休館日：毎週火曜日、12月29日から１月３日、 特別整理期間（蔵書点検） ・シフトによる交代勤務制 平日：８時30分から19時15分（2交代制） 土曜、日曜、祝日：８時30分～17時15分（2交代制）

Ⅱ　業務達成度の分析・評価

1　管理運営業務

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
施設等の運営	(1) 運営全般業務	館運営、関係機関・団体との連絡調整、市への報告等適時対応した。	総合的な視点で適切に運営を実施した。
	(2) 庶務業務	OBIC７会計システム、OBIC勤怠システムを利用し、各種帳票作成と庶務業務を行った。	各種システムの利活用、本社との連携により適正に実行した。
	(3) 窓口サービス業務	予約数 3,417 件 書架案内 540 件 資料検索 554 件 書庫出納 205 件 文献調査　29 件	利用者への日常的な貸出・返却対応に加えて、その要望を踏まえた予約及びレファレンス関連業務を行った。
	(4) 蔵書管理業務	資料の購入・除籍を年間計画に基づき、市の承認を得た上で計画的に実施した。 購入数：2,931 冊 除籍数：3,674 冊	購入資料（図書、雑誌、新聞）は、基本的に地元書店・販売店から購入している。 除籍については、年間計画に沿って適切に処理を行い、書架環境の整備と資料の更新を行った。
	(5) 関係団体支援業務	市の各課や県立美術館等と連携した企画図書展を計８回開催した。 学校図書館担当者に図書館情報や授業等で使用する図書のレファレンス対応及び貸出を行った。その他、移動図書館車の巡回による団体貸出、中学校への配本に加え、学校の要望に応え新たに小学校への配本事業を開始するなど、学校図書館の蔵書を補完し、読書活動の支援・学習サポートを行った。 また、図書支援活動地域ボランティア研修会に、スタッフを講師として派遣した。 読書ボランティア各団体との情報交換に努め、その事業に必要な資料を提供した。	市の各課から多数の連携事業の依頼を受け、積極的に対応した。これらの事業を通じて、市民が市の施策をより深く理解する機会を提供し、地域全体の施策浸透に貢献した。 また、学校関係者からの所蔵調査や貸出依頼件数は増加傾向である。 さらに、保育園から高校まで図書館見学・インターンシップ等の受け入れを行い、学習・キャリア形成の機会を幅広く提供した。

	(6) 読書活動推進に関する業務	各種図書館イベント（催事、展示会等）と連動した読書推進活動を実施した。	市立図書館の基本業務のひとつとして年間 26 件の企画展示を実施し、利用者アンケート等でも引き続き高い評価を得ている。 また、幅広い年代を対象としたイベントを開催し、図書館利用の活性化にもつながった。今後も、各世代に目配りした催事を企画・実行していくことが課題と考えている。
	(7) 移動図書館車の運行業務	貸出人数 2,624 人 貸出冊数 25,672 冊	幼保／こども園 4 校 小学校 4 校 学童クラブ 2 施設 福祉系施設 12 施設に加え、新たに応急仮設住宅 2 か所に定期巡回を開始した。
	(8) 相互貸借業務	貸出 170 件、借受 129 件	相互貸借対象館と適宜連絡調整を行い、利用者の要望に沿うよう遅滞なく処理を進めた。

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
自主事業等	読書の普及、振興に関する事業を積極的に企画・実施すること	科学的知識の涵養を目的とした親しみやすいショーや、絵本の複製画の展示等の子ども向けのイベントに加え、プロも使用する画材を使用した描画体験やプログラミングのワークショップなど、幅広い世代の図書館利用を促す企画を適宜実施した。	各イベントの事前申込・当日参加状況、実施後アンケート等を踏まえ、また外部との連携を視野に入れつつ、今後も図書館利用拡大に繋がる独自性のある事業やイベントを企画・実施していく。

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
その他業務	(1) 施設の管理に関すること	市民文化会館指定管理者と連携協力し、戸締り、火気取り扱い、その他災害発生防止に努めた。	今後も市および市民文化会館指定管理者との連携協力体制を維持していく。
	(2) 設備及び物品の管理に関すること	館内設備、移動図書館車の維持管理を専門業者に委託した。 移動図書館車の車体修繕、エンジン修繕各 1 件 計 2 件	市民文化会館指定管理者と連携協力し、左記施設の維持管理を適切に実施した。

	⑶ 施設の警備に関すること	利用者の安全と施設を守るために、利用者が安心して利用できる環境整備に努めた。	閉館業務においては、施錠の確認、消灯、安全点検等を適切に行った。
	⑷ 施設の防災に関すること	市民文化会館との合同消防訓練(火災)を2回実施した。	今後も大船渡地区消防組合指導による合同消防訓練、普通救命講習会等を定期的に実施していく。
	⑸ 業務報告及び各種調査回答	月次の利用状況を月例会にて報告提出した。また、四半期単位で収支概要を提出した。	市職員と連携協力し、適時各報告書等を作成・提出した。
	⑹ その他管理運営に必要な業務	個人情報保護をテーマとした研修会、災害時安否確認訓練、安全運転講習等を実施。	ハード、ソフト両面で管理運営に資する研修・訓練を通年で実施した。

２　指定事業

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
児童向事業	・おはなし会 ・ブックスタート	・おはなし会：年間24回実施、参加者：子ども113人、大人109人　計222人 ・ブックスタート：年間 12回実施、参加者：子ども131人、大人151人　計282人	おはなし会の参加者は、前年比で増加傾向にあり、定例イベントとして定着した印象である。両事業とも、幼少期における本との出会いとなる意義ある事業として継続実施していく。
一般向事業	・企画図書展の開催 ・おたのしみ親子劇場	・企画図書展開催回数：年間26回 ・おたのしみ親子劇場：12月21日開催、参加者：子ども65人、大人45人　計110人	市内関係団体と連携協力して企画図書展を開催した。親子で楽しめる大規模イベントについては、実施総括を踏まえ、現状の課題に合致したイベントとしてブラッシュアップしていく。
移動図書館の運行事業	BM利用状況及び運行状況	年間利用者数：2,624人 年間利用冊数：25,672冊 年間巡回日数：130日 年間ステーション訪問件数：613件	随時運行ステーションの利用状況を確認し、半期毎に適正な運行スケジュールを検討・作成した。 津波警報・クマ目撃情報に伴う巡回中止の際は、SNSも活用しつつ、迅速・確実な連絡対応も行った。

業務達成度の分析・評価における総括	自己評価
大船渡市の管理運営に関する基本協定書、年度協定書、管理運営業務仕様書や関係法令等の基準を順守し、利用の公平性を確保するとともに、利用者が安心かつ安全に利用できる環境の提供を目的に、市民文化会館指定管理者と連携して施設や設備の維持管理に努めた。また、業務については、指定管理制度導入前の運用をベースに、現状を踏まえ、改善が必要と考えられる点については、適宜見直しを実施し、業務効率化を推進している。	適正に図書館運営を実施していると自己評価する。 施設管理については、今後とも市民文化会館指定管理者と連携協力して実施していく。

Ⅲ　利用者満足度の分析・評価

項目	実施結果等		
実施方法	利用者アンケートの実施（アンケート用紙の配布及び回収） 実施期間：令和７年 12 月 6 日から令和８年１月 18 日		
回答者数	150 件		
調査項目	評価	今回	前回
図書館の施設・設備	満足	44%	46%
	やや満足	22%	23%
	普通	22%	18%
	やや不満	6%	7%
	不満	4%	5%
開館時間（平日９時～１９時／　休日９時～１７時）	満足	51%	56%
	やや満足	21%	16%
	普通	21%	20%
	やや不満	5%	5%
	不満	1%	3%
貸出期間（２週間）	満足	42%	38%
	やや満足	10%	16%
	普通	30%	25%
	やや不満	11%	9%
	不満	4%	10%
貸出点数（本・雑誌等１０冊まで／ＤＶＤ等２点まで）	満足	52%	52%
	やや満足	13%	16%
	普通	25%	20%
	やや不満	3%	6%
	不満	1%	2%
案内表示のわかりやすさ	満足	30%	30%
	やや満足	16%	20%
	普通	39%	33%
	やや不満	11%	10%
	不満	3%	6%

調査項目	評価	今回	前回
目的の本や雑誌等の探しやすさ	満足	19%	25%
	やや満足	21%	19%
	普通	37%	34%
	やや不満	16%	13%
	不満	4%	9%
職員の対応や説明	満足	47%	49%
	やや満足	16%	21%
	普通	33%	26%
	やや不満	0%	1%
	不満	1%	0%
図書館のすごしやすさ	満足	46%	49%
	やや満足	23%	25%
	普通	21%	15%
	やや不満	4%	6%
	不満	5%	4%
予約・リクエストサービス（希望する本がない時、他の図書館から借り受けるなどして用意するサービス）について	満足	30%	29%
	やや満足	15%	16%
	普通	25%	30%
	やや不満	2%	3%
	不満	1%	1%

主な意見・要望等	対応状況等
職員の対応・説明、図書館のすごしやすさは満足・やや満足・普通の合計が９割を超えている。施設の構造に起因する課題は継続的に指摘されている。	施設の構造的な課題は受け止めつつ、現場対応可能な範囲についての対応を継続していく。

利用者満足度の分析・評価における総括
最近の図書館が求められている居場所としての「すごしやすさ」に一定の評価を得た認識である。 今後も多様な利用者ニーズを踏まえ、適正な運営を継続実施していく。 貸出期間・冊数ついての「不満」「やや不満」が占める割合は逓減している。

Ⅳ　収支状況の分析・評価

【収入の部】　　単位：円

科目	予算額	決算額	決算額－予算額
指定管理業務受託収入	50,035,000	50,035,000	0
指定管理外収入	10,000	34,470	24,470
収入合計	50,045,000	50,069,470	24,470

【支出の部】

科目	予算額	決算額	決算額－予算額
人件費	29,618,000	29,468,095	▲149,905
消耗品費	750,000	744,254	▲5,746
旅費交通費	150,000	27,258	▲122,742
通信運搬費	385,000	181,375	▲203,625
賃借料	1,060,000	587,293	▲472,707
車両経費	510,000	388,810	▲121,190
資料費（図書）	5,500,000	5,502,916	2,916
資料費（新聞・雑誌）	810,000	880,040	70,040
資料費（視聴覚資料）	100,000	104,997	4,997
TOOLi 利用料	528,000	528,000	0
読書推進事業費	180,000	180,730	730
HP 開設・維持	800,000	927,520	127,520
自主事業費	500,000	162,097	▲337,903
施設賠償責任保険	4,000	3,500	▲500
修繕費	100,000	99,000	▲1,000
租税公課	3,200,000	3,609,328	409,328
管理費	5,850,000	6,674,257	824,257
支出合計	50,045,000	50,069,470	24,470

【繰越金】

科目	前年度までの繰越	今年度の繰越	次年度への繰越
繰越金	0	0	0

収支状況の分析・評価における総括	
収入	ほぼ当初計画通りの収入額となる。
支出	支出科目による予算額と決算額の差異について、科目ごとの支出状況を精査し、予算額と決算額の整合を図るよう引き続き計画策定・執行していく。
繰越金	なし。